

# こんなことやってるよ



## 初開催 「国際学生ゼロカーボン会議」

～2050ゼロカーボン実現に向け、県内の高校生、大学生が自らの取組を世界に発信！～

### ❖ 世界各国の学生とともに学び、交流！

長野県の学生が世界各地の同世代の若者と気候変動などの環境問題について学び、解決策を考え、行動を起こすきっかけとなることを目的とした「国際学生ゼロカーボン会議」を県とフィンランド北カルヤラ県の教育機関が連携し、2022年2月22日（火）～25日（金）の4日間、オンラインで開催しました。

会議では、気候変動、サーキュラーエコノミー（循環型経済）、マイクロプラスチック、森林資源という4つのテーマについて、長野県及び海外の学生によるプレゼンテーションのほか、専門家の基調講演やディスカッションを行いました。

### ❖ 県内7組の学生が自らの取組を世界に発信！

学生プレゼンターは総勢6カ国16組。日本とフィンランドの他、ペルーやリトアニア、スペインなど各地からそれぞれの地域で抱える課題や自分たちのアクションについて発表しました。

長野県からは、7組の学生が英語でプレゼンテーション。会議1日目のテーマ「気候変動」では、上田高等学校1年の桑田彩芭さんが昨年12月に企画した学習室の断熱DIYワークショップについて、Hakuba SDGs Labの金子菜緒さん、宮坂雛乃さんは白馬高校生時代に企画したグローバル気候マーチ in 白馬や気候難民のためのチャリティバザーなどの取り組みを紹介しました。

2日目のテーマ「サーキュラーエコノミー」では、

松本県ヶ丘高等学校2年の長谷川麗さんは食品ロスになるお米や野菜を原料とした色鉛筆制作について、松本深志高等学校2年の加藤あすみさんは、エシカル消費を促進するために立ち上げたメディアやファッションレンタルサービスについて、長野県立大学2年の菊地美希さんは環境活動家などによる講演会企画について発表しました。

3日目のテーマ「マイクロプラスチック」では、信州大学工学部3年の西野竜介さんがペットボトルに頼らないライフスタイルを提案、4日目のテーマ「森林資源」では信州大学農学部3年の光門舞花さんがポータブル製材機を使い一人で木材加工から家具づくりまでを完結させる挑戦について紹介しました。

### ❖ 40か国以上の2000名が視聴

国によって前提となる状況や課題も異なることがわかり、それらを理解した上で何ができるのか、連携できることはあるのか、専門家も交えてディスカッションを行いました。

視聴者は世界40カ国以上から累計2,000人以上に上りました。

会議のアーカイブ（日本語通訳付き）のリンクをWEBサイトのお知らせ欄に掲載しておりますので、右の二次元バーコードからご覧ください。

（藤原 智子／環境政策課）



会議のアーカイブ  
サイト



1日目「気候変動」の学生プレゼンテーション



2日目「循環型経済」のディスカッション

